



第3回 特集

長久手市ごみ減量大作戦



あすりー

「3きり運動」で生ごみ減量

☎環境課 ☎56-0612

10月は食品ロス削減月間です。食品ロスとは、食べられるのに捨てられてしまう食品のことで、日本では1年間で600万トンもの量が発生していると推計されています。国民1人あたり毎日お茶碗1杯分(130g)に相当する量の食品を捨てていることになります。

直近の調査によると、本市ではもえるごみの43.9%が生ごみになり、未調理食材(6.6%)も捨てられています。今回は、食品ロス・生ごみを減らすための取り組み「3きり運動」についてお知らせします。



*スーパー等で購入できる水きり袋やポリ袋を活用すれば、手の汚れを防ぐことができます。水きりは、ごみの焼却効率を高め、焼却費用や二酸化炭素排出量を減らすことに繋がります。